

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	地域の元気の創造	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅱ-7-(1)
	政策名	活力みなぎる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部、生活環境部、商工観光労働部	長期総合計画頁	119

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	元気で活気あふれる地域づくりの推進	特徴ある地域づくりの展開	地域づくりを支える人材の育成	空き家の利活用の推進
取組No.	⑤			
取組項目	地域に活力を生み出す 経済基盤の安定と仕事づくり			

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 地域活力づくり取り組み件数(累計)	①②③ ④⑤	H26	645	1,052	1,065	101.2%	1,155	1,670						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i 達成	県内各地域で地域資源を生かした地域の活力づくりに取り組んだ結果、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・地域資源を活用した産品開発、ツーリズムの推進、ラグビーワールドカップ2019大分開催を踏まえ、国宝、ユネスコエコパーク、日本遺産等の国際的なブランド力を活かした様々な取組を実施し、地域の元気の創造が図られた。
②	・姫島、豊後大野両ジオパークの活動を推進するため、看板設置やガイド養成等に対する助成を行い、受入れ態勢の充実を図った。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、小学生向け解説冊子の製作や福岡県等でのPR活動を行った。また、エリア内の様々な分野の地域活動団体の交流を行い、自然と共生する地域振興を進めた。
③	・芸術文化関連産業の将来を担う人材の県内就職及び定着を促進するため、ふるさと納税を活用し、県内の中小企業に就職した2名の奨学金返還を支援した。
④	・リフォーム関連事業紹介パンフレットに移住者居住支援事業の補助内容を掲載することによって、前年度を上回る空き家バンクの利活用数となった。
⑤	・Ⅱ-7-(2)を参照。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	地域活力づくり総合補助金	450,188	A	継続・見直し	22
②	創造県おおいた推進事業	138,751	A	終了	30
	おおいたジオパーク推進事業	39,409	A	継続・見直し	101
③	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	17,687	A	継続・見直し	102
	地方創生ふるさと納税活用人材育成事業	19,834	A	継続・見直し	23
④	観光地域磨き推進事業	63,093	A	終了	16
	移住者居住支援事業	63,989	A	継続・見直し	12

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)</p> <p>・来年の11月に日本ジオパークの全国大会が開催されるが、一つの行事で終わらせることなく、地域の産業振興、人材の確保、地域課題の解決につながる議論がされるとよい。</p> <p>・幾つかの市町村に空き家の申し込みをする際、殆ど同じ内容を違った書式で何度も書かねばならない。</p> <p>・県で統一した書式を作り、県のホームページから申し込みが行うことができ、それにより自動的に希望する市町村に提出できるような仕掛けを検討してほしい。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・ラグビーワールドカップ2019等海外から注目が集まる機会を捉えて、R1年度は、昨年度に引き続き国際的にブランド力のある地域を対象とした取組に対して補助率を嵩上げするなど、地域活力づくり総合補助金を活用して交流人口の増加を目的とし、地方創生に資する取組を支援する。</p> <p>・芸術文化関係団体や施設、市町村等と連携し、芸術文化や歴史等を地域資源として活用し、優れた芸術文化活動を展開することで、交流人口の増加や移住・定住につなげる。</p> <p>・おおいたツーリズム大学等により観光・地域づくりを担う人材の育成を引き続き行う。</p> <p>・申請書の様式の統一及び県庁ホームページからの申し込みについては、利用希望者の利便性向上、ひいては県内の移住促進につながるため、各市町村と協議する。</p>